



## 河川工事について知ろう



### 入間川流域緊急治水対策プロジェクト

河川工事の現場では、多くの「土」が使われます。河道掘削で河川を「掘った土」を有効に活用するため、堤防整備の「盛る土」として使用しています。

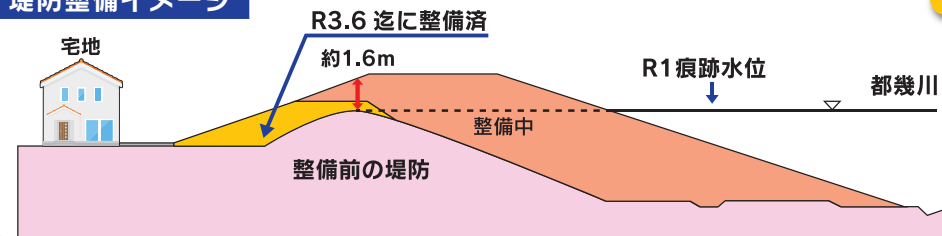
工事現場周辺では土を運搬する大型ダンプカー等が往来します。誘導員を配置したり、なるべく川の中を通るなど、安全対策にも努めてまいります。早期に事業を完成させるため、ご迷惑をおかけしますが皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いします。



工事



### 堤防整備イメージ



東松山市あずま町の盛土は下流の入間川で掘削した土を使用しています。

あずま町の  
工事概要は  
コチラから



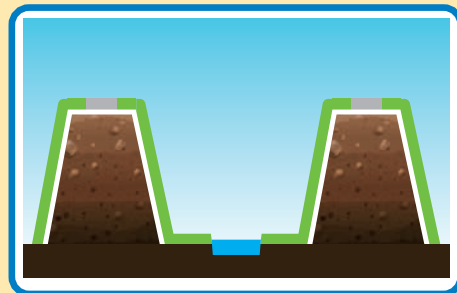
なぜ河川の堤防では主に「土」が使われているのでしょうか？

答えは裏面をチェック! ➡

本プロジェクトで推進中の越辺川、都幾川の築堤工事、河道掘削工事については、早期整備を目指し鋭意施工中です。

# 知ってた？ 堤防はなぜ**土**でつくる？

土は何年たっても材料として劣化し弱くなることなく、堤防の一部を作り直す・作り変えることが容易です。堤防用の土は、さまざまな大きさの粒子を含んでおり、一定の基準を満たしたものを使用しています。大きな粒子の間に、小さな粒子が入り込むことで接触点が多くなり、揺れや荷重に対して強くなります。



## 川の防災マシン「災害時に活躍する特殊車両」

災害発生現場などで活躍する特殊車両を紹介します。

### 排水ポンプ車

排水作業に必要な排水ポンプ、発電機等を搭載しています。台風や集中豪雨による河川の氾濫などにより浸水した場所に出動し、溢れた水を排水することによって、浸水被害を最小限に抑えます。



排水の様子



令和元年台風第19号時の活動状況

### 照明車

夜間における災害現場の応急復旧作業、監視等の照明として使用します。



令和元年台風第19号時の活動状況



なぜ今、流域治水？

## 流域治水ロゴマーク募集中！

荒川水系(埼玉ブロック)流域治水のシンボルとなるロゴマークを一般公募します。公募作品の中から、協議会構成員による投票にて決定されたロゴマークは、荒川水系(埼玉ブロック)での流域治水を広く周知・PRするための広報活動に活用します。

**募集期間** 令和4年1月7日(金)～令和4年2月18日(金)

**応募資格** どなたでもご応募いただけます。

**募集するデザインの主なポイント** (詳細は募集要領を確認ください)

- ① 流域治水を表現し、荒川水系(埼玉ブロック)をイメージした、特徴が感じられる作品であること
- ② 伝わりやすく、簡潔なデザインの作品であること

詳細は  
二次元コード



荒上 流域治水 ロゴマーク

検索